

1993年度  
主要業務計劃報告

農 林 水 產 局

# 報 告 順 序

I. 一 般 現 況 .....	693
○ 基 本 現 況 .....	694
○ 機 構 與 定 員 .....	695
○ 主 要 任 務 .....	696
○ 豫 算 規 模 .....	697
II. '93 施 策 推 進 方 向 .....	698
III. '93 主 要 業 務 計 劃 .....	699
IV. 道 政 質 問 答 辯 時 繼 續 性 業 務 處 理 狀 況 .....	727

# 一 般 現 況

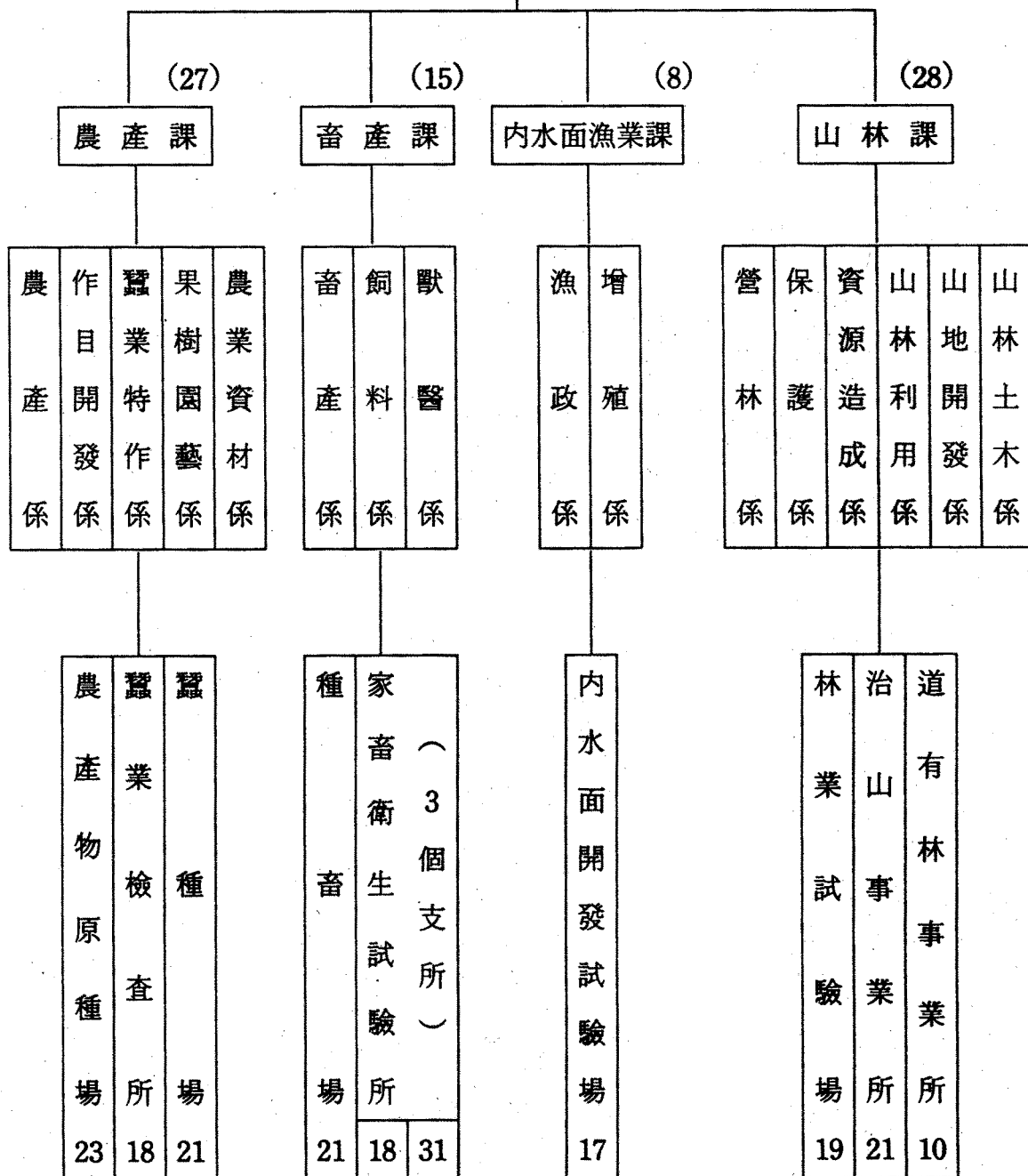
## 基 本 現 況

- 耕地面積 ..... 152千ha(道の 20%)
  - 田 : 70千ha(全國의 9.3%)
  - 畚 : 82千ha(全國의 6.1%)
    - 農家戶當 : 1.4 ha(全國 : 1.2 ha)
  
- 農家戶數 ..... 111千戶(道の 30.4%)
  
- 農家人口 ..... 405千名(道の 28.3%)
  
- 林野面積 ..... 504千ha(道の 68%)
  - 國公有林 : 151千ha(30% : 國14%, 道4%, 市郡12%)
  - 私 有 林 : 353千 ha(70%)
  
- 家畜飼育 ..... 韓牛 115千頭(42.2千戶)
  - 젓소 26千頭(1.9千戶), 돼지 203千頭(2.8千戶)
  
- 内水面 面積 ..... 31千ha(全國의 15.6%)
  - 3個댐(55%), 貯水池(7.6%), 其他(37.4%)

# 機 構 定 員

農 林 水 產 局

(4課 16係, 9事業所 : 277名)



# 主 要 任 務

## □ 農 產 課

- 農業生產의 綜合對策 推進
- 良質 食糧의 安定的 生産
- 經濟作物 生産基盤 擴充 및 生産性 向上
- 農業機械化 促進

## □ 畜 產 課

- 養畜經營改善斗 畜產物 需給安定
- 飼料需給調節 및 飼料資源開發
- 家畜防疫 및 畜產 公害 防止

## □ 內水面漁業課

- 漁業 生産基盤 擴充
- 內水面 資源 增殖 및 保護 管理

## □ 山 林 課

- 山林 資源 增蓄斗 公益的 機能 增大
- 山林 災害 豫防(산불, 病蟲害)
- 山林 副產物 生産 住民 所得 向上
- 道有林 施業 適正으로 經營 示範化

# 豫 算 規 模

□ 農林水産局 豫算 ..... 23,029 百萬元

○ 道 本 廳 ..... 15,448 百萬元

○ 事 業 所 ..... 7,581 百萬元

※ 道 豫算 371,012 百萬원의 6.2%

## □ 會 計 別

○ 一 般 會 計 ..... 22,790 百萬元

○ 特 別 會 計 ..... 239 百萬元

## □ 分 野 別

○ 農 産 分 野 ..... 9,256 百萬元(40.2%)

○ 畜 産 分 野 ..... 2,288 百萬元( 9.9%)

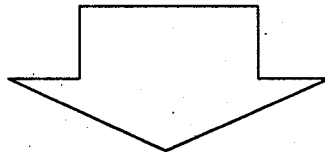
○ 内水面漁業分野 ..... 653 百萬元( 2.8%)

○ 山 林 分 野 ..... 10,832 百萬元(47.1%)

# '93 施策推進方向

## 基本方向

- 農, 畜産物の安定生産と品質向上
- 營農の機械化, 施設現代化로 生産性増大
- 山林 및 内水面 資源の開發, 利用으로 所得源 擴充



## 力點施策

- 良質의 食糧生産과 科學營農 推進
- 經濟作物의 適正生産 및 高品質化
- 農業의 機械化, 施設現代化 促進
- 畜産物 需給 安定 및 流通改善
- 畜産業 基盤 施設 擴充
- 内水面 資源 造成
- 山林資源의 增蓄과 公益機能 增進
- 山林災害 豫防



## **'93 主要業務計劃**

# 食糧의 安定的 生産

## □ 基本方向

- 消費者 嗜好에 副應한 良質의 食糧生産
- 科學營農으로 生産費 節減 및 單位 生産性 提高

## □ 生産計劃

穀 種 別	面 積	段 收	生 產 量	
			%	千 石
計	89,270 ha	kg	360,080	2,532
米 穀	70,000	450	315,000	2,200
麥 類	300	245	730	5
豆 類	13,630	156	21,290	153
薯 類	1,090	454	4,946	40
雜 穀	4,250	426	18,114	134

## □ 推 進 施 策

- 持續的인 綜合農土培養으로 地力增進 : 12,770 %
- 優秀農產物 生産을 위한 良質의 優良種子普及 擴大 : 780 %
- 어린모 擴大栽培로 省力營農 (育苗場 設置) : 193 棟
- 病害蟲 綜合防除體制 構築 : 6.3 回 → 6.2 回
- 밭作物 契約栽培로 安全營農 推進 : 보리, 콩, 옥수수, 쌀, 녹두

## 가. 綜合農土培養

低位生産地를 客土, 深耕, 土壤改良劑, 有機物施用 等 綜合的으로 改良하여 땅심을 높여 農業生産 基盤 構築

### □ 推 進 方 針

- 精密土壤 檢定에 의한 自律的인 綜合農土培養 誘導
- 벼짚갈기, 堆·廐肥施用 擴大로 有機物 還元 極大化
- 共同堆肥製造場設置 農産副産物 活用 有機質肥料 周年生産
- 土壤改良劑 4年 1期로 希望農家 供給

### □ 推 進 計 劃

區 分		事業量	事業費	財 源 別			
				國 費	道 費	市郡費	融資自擔
計			百萬원 1,136	307	45	262	522
共同 堆肥 製造場		1 個所	450	135	45	90	180
土壤 改良劑	石灰質	9,088 M/T	480	120	—	120	240
	珪酸質	3,682 ”	206	52	—	52	102

### □ 期 待 效 果

農産物의 品質向上과 單位 生産性 增大

## 나. 벼 어린모 機械移秧 擴大

- 省力 營農 推進으로 農村 勞動力 不足 對處
- 人力, 資材節減 및 機械化 促進으로 生産費 節減

### □ 推 進 方 針

- 어린모 機械移秧用 共同育苗場의 年次別 擴大 設置
- 自然部落單位 本畝 10 ha以上 機械移秧 可能地를 對象地로 選定

### □ 推 進 計 劃

(單位 : 百萬원)

事 業 量	單 價	事 業 費	財 源 別			
			國 費	市郡費	融 資	自 擔
棟 193	千원 2,800	540	162	162	162	54

### □ 期 待 效 果

- 勞力 및 資材 節減 : 54%
- 育苗 期間 短縮 : 30 ~ 35 日 → 8 ~ 10 日
- 育苗場 施設의 多目的 活用 : 施設菜蔬栽培, 農産物 乾燥場 等

## 다. 벼 病害蟲 防除

- 地域 防除體制 構築을 위한 精密豫察, 基幹 共同防除
- 綜合防除體制 強化로 防除價 提高 및 被害 極少化

### 推 進 方 針

- 機械化 共同防除團 運營 活性化
- 適期 防除로 農藥 撒布回數 減縮
- 農藥 安全使用 教育(農民, 農藥販賣商) 強化

### 推 進 計 劃

(單位 : 百萬원)

事 業 名	事 業 量	事 業 費	財 源 別			
			國 費	道 費	市 郡 費	自 擔
計	—	832	202	106	193	331
病害蟲 共同防除	25,613 ha	525	134	42	92	257
防 除 機	255 臺	92	23	—	23	46
防 除 服	5,631 着	118	45	14	31	28
改 良 마 스 크	211 千個	97	—	50	47	—

### 期 待 效 果

- 病害蟲 被害 最少化로 單位 生産性 增大
- 防除裝備 供給으로 農藥中毒 事前 豫防

## 라. 地域 特味쌀 開發

- 良質米를 選好하는 消費階層의 慾求充足을 위하여 地域特化米 育成
- 清潔米 加工 및 包裝方法 改善으로 단골 需要處 確保

### 推 進 方 針

- 土質, 水質, 氣象, 栽培技術, 加工販賣 與件이 有利한 地域選定
- 農產物 品質認證後 販賣
- 地域 特化米 定着을 위한 大的인 販促活動 強化

### 推 進 計 劃

(單位 : 百萬원)

事 業 量	事 業 費	財 源 別	
		道 費	市 郡 費
200 ha	112	56	56

※ 包裝袋, 接着機 등 支援

### 期 待 效 果

- 消費者의 良質米 選好度 充足
- 品質認證으로 信賴度 提高
- 消費處 確保로 安定된 營農基盤 構築

# 經濟作物의 適正生産

## □ 生産目標

主要作目		'93 目標		'92 實績(推定)		對 比
		面 積	生産量	面 積	生産量	
菜蔬	고 추	11,800 <sup>ha</sup>	25,000 <sup>%</sup>	11,986 <sup>ha</sup>	28,766 <sup>%</sup>	87
	마 늘	2,100	14,400	1,910	14,580	99
	무	1,850	66,800	1,880	67,900	98
	배 추	2,100	142,300	2,140	145,000	98
果樹	사 과	5,750	59,100	5,650	58,160	102
	배	350	3,500	330	3,280	106
	복 송 아	1,130	11,600	1,130	11,600	100
	포 도	2,400	26,400	2,260	24,900	106
花 卉		110	5,700 <sup>千本</sup>	95	4,900 <sup>千本</sup>	116
特作	참 깨	5,800	4,070 <sup>%</sup>	6,112	4,205 <sup>%</sup>	97
	땅 콩	1,100	2,100	1,184	2,156	97
	生 藥	820	2,000	751	1,958	102
	버 섯	135 <sup>千坪</sup>	4,200	133 <sup>千坪</sup>	4,113	102

## □ 推 進 方 向

- 主產地 中心으로 安定生産을 爲한 生産基盤 擴充
- 需要에 알맞는 適正生産 體系確立
- 端境期 需給安定을 爲한 年中 生産體系 確立
- 品質向上 및 生産性增大로 農家 實質所得 增大

## 園藝作物 生産基盤 擴充

- 生産 施設의 現代化, 自動化로 省力 營農基盤 構築
- 生産性 向上으로 價格 競爭力에 依한 農家所得 增大

### □ 推 進 方 針

- 主産團地 中心으로 安定 生産基盤 構築
- 施設의 自動化로 技術集約的, 省力化 農業으로 轉換

### □ 推 進 計 劃

(單位 : 百萬圓)

事 業 名	事 業 量	事業費	財 源 別				
			國費	道費	市郡費	融 資	自 擔
計		4,862	(22%) 1,076	(13%) 611	(21%) 1,015	(22%) 1,077	(22%) 1,083
施設菜蔬示範團地造成	1 個所	1,450	435	131	304	435	145
施設菜蔬栽培農家育成	200 棟	700	—	148	132	—	420
果樹 綜合團地 育成	3 個所	458	137	41	96	138	46
二重 封紙 供給	20 百萬枚	374	—	79	71	—	224
銀箔비닐被覆資材供給	200 ha	200	—	61	59	—	80
花卉 團地 造成	3 個所	1,680	504	151	353	504	168

### □ 期 待 效 果

- 商業農 時代에 알맞는 年中 生産, 供給
- 生産施設의 現代化로 生産費 節減
- 高品質 農産物 生産으로 國際 競爭力 提高



# 누에고치生産

- 國際 競爭力이 比較的 有利하나 勞動 集約的 産業
- 省力 養蠶 基盤構築의 內實化

## □ 推 進 方 針

- 養蠶 生産 基盤의 內實化
- 經營 構造 改善과 生産性 向上
- 省力 技術 普及과 養蠶 機械化 促進

## □ 推 進 計 劃

(單位 : 百萬원)

事 業 名	事業量	事業費	財 源 別			
			國 費	道 費	市郡費	融資自擔
計		465	86	63	130	186
뽕 발 補 完	300 千株	105	32	9	22	42
省力 蠶室 建築	145 棟	192	11	46	58	77
養蠶 機械 普及	318 臺	150	43	2	45	60
改良 蠶具 普及	220 組	18	—	6	5	7

## □ 期 待 效 果

經營構造 改善으로 生産基盤의 內實化 圖謀

# 農業 機械化 促進

- 農村 勞動人口의 持續的인 減少와 老齡化, 婦女化에 效率的 對處
- 農機械 利用度 提高로 生産費 節減과 農業 競爭力 向上

## □ 推 進 方 針

- 農機械 共同利用 體系 定着 大規模 形態의 委託營農 擴大
- 機械化 專業農 集中 支援 核心 先導農家 育成
- 農機械 利用 吳 點檢, 整備能力 培養 修理機能 強化

## □ 推 進 計 劃

(單位 : 百萬圓)

區 分	事 業 量	事 業 費					
		計	國費	道費	市郡費	融資	自擔
計		16,566	2,522	1,035	2,038	9,357	1,614
委託營農會社	22 個所	1,995	499	150	349	798	199
營 農 團	193 團	3,461	865	260	606	1,384	346
機械化專業農	481 戶	10,249	1,025	307	717	7,175	1,025
播種機供給	134 臺	222	—	67	111	—	44
訓練用農機械	12 臺	118	59	17	42	—	—
整備教育裝備	6 組	110	55	17	38	—	—
機械化營農士	40 名	24	12	12	—	—	—
技術訓練	3,690 〃	45	7	34	4	—	—
修理裝備支援	196 個所	342	—	171	171	—	—

## □ 期 待 效 果

- 機械化 省力 栽培로 農業 生産性 增大
- 故障 農機械의 迅速한 修理로 利用度 提高

## 畜産業 構造改善

- 畜産物 輸入開放에 對備한 對應力 提高
- 副業 畜産農家를 家族單位 專業農家로 育成
- 養畜農家の 安定的 經營으로 所得增大

### □ 推 進 計 劃

(單位 : 百萬圓)

事業名	事業量	事業費	財 源 別			
			道 費	市郡費	融 資 (畜振基金)	自 擔
計		10,218	129	127	6,230	3,732
先導養畜農家育成	36 戶	8,062	—	—	4,830	3,232
돼지 輸出 事業	30 千頭	156	79	77	—	—
畜産團地造成	1 個所	2,000	50	50	1,400	500

### □ 期 待 效 果

- 畜産業 構造改善으로 所得增大 및 生産性 提高
- 國際 競爭力 갖춘 專業 養畜農家 育成으로 畜産物 價格安定

# 觀光示範牧場造成

## □ 事業概要

- 事業者 : 丹陽畜產業協同組合
- 事業期間 : '92. 8. ~ '93. 8.
- 位置 : 丹陽郡 大崗面 兀山里 山 74 - 35, 36 番地
- 造成面積 : 77.6 ha (草地 69.6 ha, 牧場 및 觀光休養施設 8 ha)

## □ 推進方針

- 家畜入殖 : 840 頭
  - 젓소, 한우, 사슴, 염소, 토종닭, 꿩, 기타
- 牧場施設 設置 : 畜舍, 機械裝備施設, 倉庫, 其他 附帶施設
- 便宜施設 設置 : 研修施設, 宿泊施設, 駐車場

## □ 推進計劃

(單位 : 百萬元)

細部事業名	事業費	財 源 別		
		道 費	融 資 (畜振基金)	自 擔
計	1,363	136	800	427
家畜入殖	288	46	—	242
牧場施設	238	90	—	148
觀光休養施設	837	—	800	37

## □ 期待效果

- 畜産以外의 觀光收入으로 畜産業의 持續的 運營
- 健全한 觀光産業 育成으로 國民 情緒 涵養

# 粗飼料生産 基盤造成

## □ 事業概要

- 草地 管理 面積 : 1,128 戸, 4,388 ha
- 粗飼料生産 機械化團地 造成 : 10 個所

## □ 推進方針

- 新規 草地 造成 : 40 ha
- 既成 草地 補完 : 162 ㄱ
- 畚裏作飼料作物 栽培 : 520 ㄱ
- 粗飼料生産 機械化團地 : 21 個所

## □ 推進計劃

(單位 : 百萬圓)

細部事業名	事業費	財 源 別				
		補 助			融 資	自 擔
		國 費	地方費	基 金		
計	1,685	24	303	512	674	172
草地 및 飼料 作物 栽培	215	24	9	71	86	25
粗飼料生産機械 化團地 造成	1,470	—	294	441	588	147

## □ 期待效果

- 畜産物 生産費 節減에 의한 國際競爭力 提高
- 粗飼料 生産 省力化에 의한 生産費 節減 및 農村 勞動力 不足 解消

# 家畜防疫 및 衛生

## □ 現 況

- 動物病院 : 67個所 (公獸醫 50個所, 開業獸醫 17個所)
- 畜産物作業場 : 17個所 (屠畜場 7, 屠鷄場 4, 集乳場 6)
- 零細 養畜農家の 家畜糞尿 放流 防止

## □ 推 進 計 劃

(單位: 百萬元)

細 部 事 業 名	事業量	事業費	財 源 別			
			國 費	道 費	市郡費	自 擔
計		411	62	127	162	60
豫 防 注 射 ( 소, 돼 지, 개 )	千頭 190	104	62	—	42	—
畜 産 物 檢 査 ( 소, 돼 지 )	560	7	—	7	—	—
簡 易 淨 化 施 設	個所 100	300	—	120	120	60

## □ 期 待 効 果

- 疾病으로부터 家畜을 保護하고 國民保健向上에 寄與
- 環境 및 水質汚染 防止

# 家畜衛生試驗所支所增設

## □ 必 要 性

- 家畜 飼育 趨勢의 變化 : 專業化, 集團化
- 畜產物 輸入 開放에 對한 疾病의 多樣化
- 本所 業務量의 過重 : 道內 全體物量의 50%

## □ 現 況

試驗所別	位 置	設 置 年 度	管 轄 區 域
本 所	清 州	1953年	清州, 清原, 鎭川, 槐山, 曾坪
南 部 支 所	永 同	1983年	報恩, 沃川, 永同
北 部 支 所	忠 州	1973年	忠州, 中原, 陰城
堤 川 支 所	堤 川	1989年	堤川市, 堤川郡, 丹陽

## □ 推 進 計 劃 —— 1 個 支 所 增 設

- 管轄區域 : 曾坪 出張所, 槐山郡, 鎭川郡
- 設置場所 : 管轄區域 中心地
- 設置規模 : 敷地 2,000坪, 建物 150坪
- 人 員 : 10名
- 條例規則 (家畜衛生試驗所) 地方公務員規則은 建物新築後 改正

## □ 投 資 計 劃

- 總 所 要 額 : 292,000千원
- '93年度 豫算確保 : 115,274千원 (國費 57,637千원, 道費 57,637千원)
- 不 足 額 : 176,726千원 (追更에 反映)

## □ 期 待 效 果

疾病으로부터 家畜을 保護하고 國民 保健 向上

# 水 產 物 生 產

## □ 現 況

- 養 殖 場 : 234個所
  - 가두리 養殖場 : 73個所 (大清湖23, 忠州湖34, 其他16)
  - 一 般 養殖場 : 161個所 (止水式96, 流水式51, 循環濾過式14)
- 漁 撈 漁 業 : 379件 (刺網 290, 주낙9, 貝類6, 其他74)

## □ 生 產 計 劃

(單位：噸)

區 分	計	生 產 量	
		養 殖	漁 撈
計	8,500	6,000	2,500
魚 類	8,300	6,000	2,300
其 他	200	—	200

## □ 推 進 方 向

- 資源造成 및 養殖技術 開發로 生産性 向上
- 適正生産으로 價格 및 漁民所得 安定



# 內水面資源造成

- 內水面 資源의 持續的 維持
- 地域 特產魚種의 棲息 水面 擴大

## □ 推 進 方 針

- 大單位담 및 優良貯水池에 重點 推進
- 人工 產卵場 設置로 魚類 自然繁殖 增大
- 冰魚알, 淡水새우 放養으로 地域 特產魚種 生産

## □ 推 進 計 劃

(單位：百萬원)

事業名	事業量	事業費	資 源 別	
			道 費	市 郡 費
計		31	21	10
冰 魚 알 移 殖	40,000千粒	5	5	—
人工產卵場 造成	10,000 m	20	10	10
淡 水  새 우 放 養	100千尾	2	2	—
붕어 稚魚 放流	100 〃	4	4	—

## □ 期 待 效 果

內水面 資源 增殖으로 漁民 所得 基盤造成

# 稚魚買人放養

- 大單位댐의 效率的인 資源造成으로 漁民所得 增大
- 잉어, 붕어 等の 經濟性 魚種 資源造成
- 댐 建設로 遡上이 不可能한 뱀장어 資源造成

## 推 進 方 針

- 大單位 댐에 重點 實施
- 稚魚買人은 道内 生産者로부터 優先買入
- 放養稚魚의 保護 管理 徹底

## 推 進 計 劃

- 放養時期 : 7月~10月
- 場 所 : 忠州, 大清, 槐山댐

(單位: 百萬원)

事業名	事業量	事業費	財源別	
			道費	市郡費
計	1,560千尾	90	45	45
• 뱀장어	60	30	15	15
• 붕어 잉어類 및 其他魚類	1,500	60	30	30

## 期 待 效 果

댐 周邊 住民 所得 增大

# 淡水魚品評會開催

- 養殖漁民의 生産意慾 鼓吹
- 内水面魚類의 優秀 品種 發掘

## □ 推 進 方 針

- 食用魚, 觀賞魚 全魚種 實施
- 優良品種으로 選拔된 魚類는 親魚로 活用

## □ 推 進 計 劃

- 時 期 : '93. 10月頃
- 場 所 : 清州市 無心川邊
- 參與者 : 道内 養殖 漁民

(單位: 千圓)

事 業 名	事 業 量	事業費(道費)	備 考
計		7,100	
施 賞	19 點	4,300	大賞外 18 點
審 查 委 員 補 償	10 名	300	
參加者 給食 및 紀念品提供	500 명	2,500	

## □ 期 待 効 果

- 養殖業者間의 情報交換으로 養殖技術 發展
- 優秀品種 開發로 養殖業의 生産性 向上

# 造 林 事 業

## □ 事 業 概 要

- 治山綠化 1.2次 實績 ('73~'87) : 182천ha (綠化爲主의 造林)
- 山地資源化 10年計劃 ('88~'97) : 31 ㄴ (經濟林 造成)
  - 實 績 ('88~'92) : 17 ㄴ (56%)
  - 今 後 計 劃 ('93~'97) : 14 ㄴ (每年 3千ha 造林)

## □ 推 進 方 針

- 林業振興促進地域 集中 施行
- 主要地域 Expo 對備 連繫推進
- 作業團 活用 早期完了로 活着率 提高

## □ 推 進 計 劃

(單位：百萬원)

事業名	事業量	事業費	財 源 別			
			國費	道費	市郡費	自擔
	ha		(43 %)	(6 %)	(15 %)	(36 %)
計	2,420	2,957	1,336	196	440	985
長期樹	1,710	2,108	965	102	232	809
速成樹	590	274	68	9	21	176
大 苗	120	575	303	85	187	—

## □ 期 待 效 果

山林資源 增殖 吳 公益機能 增大 圖謀

# 育 林 事 業

## □ 事業概要

- 山地資源化計劃 ('88-'97) : 220千ha
- 推 進 實 績 ('88-'92) : 159 ㄴ (72%)
- 今後 推進 計劃 ('93-'97) : 61 ㄴ (28%)

## □ 推 進 方 針

- 適期 實行으로 事業成果 舉揚
- 主要地域 Expo 對備 連繫推進
- 優良天然林을 重點 保育하여 用材林 造成

## □ 推 進 計 劃

(單位：百萬원)

事業名	事業量	事業費	財 源 別			
			國費	道費	市郡費	自費
計	ha 14,110	4,194	(31 %) 1,315	(9 %) 365	(20 %) 857	(40 %) 1,657
追 肥	2,480	477	63	10	23	381
풀 베 기	4,770	781	234	78	157	312
덩굴류 除去	1,690	203	116	15	38	34
稚樹 가꾸 기	3,650	1,917	575	173	402	767
天然林 保育	1,520	816	327	89	237	163

## □ 期 待 效 果

林木 生長 促進 및 立木 蓄積 增大

# 산 불 防 止 對 策

## □ 事 業 概 要

事 業 名	計 劃 ( '88~'97)	實 績 ( '88~'92)	'93 計 劃	'94 以 後
산 불 監 視 員	年 間 1,020名	500	500	1,020
動 力 鋸 子	102臺	63	6	33
携 帶 用 無 電 機	1,160개	426	244	490

## □ 推 進 方 針

- 산 불 防 止 勤 務 態 勢 確 立 으 로 山 林 被 害 最 少 化
- 山 林 內 炊 事 行 爲 등 團 束 强 化 로 산 불 原 因 事 前 豫 防
- 산 불 防 止 弘 報 强 化 로 事 前 豫 防 爲 主 對 策 推 進

## □ 推 進 計 劃

(單位：百萬圓)

事 業 名	事 業 量	事 業 費	財 源 別		
			國 費	道 費	市 郡 費
計		1,322	17	418	887
산 불 監 視 員	500명	1,156	—	371	785
動 力 鋸 子	6臺	27	8	6	13
携 帶 用 無 電 機	244개	98	4	30	64
防 火 服	69着	3	1	1	1
監 視 哨 所	6棟	12	4	2	6
鎮 火 道 具	13,000個	26	—	8	18

## □ 期 待 效 果

山 林 保 護 意 識 涵 養 으 로 國 土 保 全 및 公 益 的 機 能 增 大

# 솔잎혹파리防除

## □ 事業概要

計 劃 ( '88~'97)		實 績 ( '88~92)		'93 計 劃		'94 以 後	
事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
ha	百萬원						
79,360	22,752	46,140	7,957	9,350	2,741	23,870	12,054

※ 發生面積 ——— 20千ha (道 全林野의 4%)  
(甚 3, 中 9, 輕 8)

## □ 推 進 方 針

- 主要地域 重點防除로 被害回復 促進
- 蘇生 不可能한 被害木 伐採後 經濟樹 代替 造林
- 地域別 擔當制 實施로 適期 防除 實行效果 舉揚

## □ 推 進 計 劃

(單位：百萬원)

事業名	事業量	事業費	財 源 別		
			國 費	道 費	市郡費
計	ha		(53 %)	(15 %)	(32 %)
	9,350	2,741	1,443	420	878
樹 幹 注 射	7,000	2,253	1,190	319	744
地 面 藥 劑	200	62	46	5	11
肥 料 予 기	950	159	83	23	53
被 害 木 伐 採	700	192	92	30	70
天 敵 放 飼	500	75	32	43	—

## □ 期 待 效 果

適期 豫察 防除로 健全 山林 保存

# 砂 防 事 業

## □ 事業概要

事業名	計 劃 ( '88~'97)	實 績 ( '88~'92)	'93 計 劃	'94 以 後
山 地 砂 防	110 ha	60	3	47
豫 防 砂 防	45 ㄴ	11	3	31
野 溪 砂 防	290 km	71	14	205
砂 防 댐	90 個所	30	3	57

## □ 推進方針

- 時急性 勘案 豫定地 選定
- 上流 山地와 連繫하여 系統事業으로 野溪와 砂防댐 擴大實施
- 適地 適工法에 依한 完璧한 事業推進

## □ 推進計劃

(單位：百萬원)

事業名	事業量	事業費	財 源 別		
			國 費	道 費	市郡費
計		1,419	(70 %) 993	(18 %) 261	(12 %) 165
山 地 砂 防	3 ha	62	43	19	—
豫 防 砂 防	3 ㄴ	81	57	24	—
野 溪 砂 防	14 km	1,097	768	164	165
砂 防 댐	3 個所	179	125	54	—

## □ 期待效果

山林災害 豫防으로 國土 保全



# 民有林内林道施設

## 事業의 必要性

山間奥地 林道施設로 地域間 均衡 發展

## 事業 概要

- 目 標 : 825 km
- 實績('88~'92) : 262 ㄴ (32%)
- 以後 計劃 : 563 ㄴ (68%)
- ※ 林道密度(ha) : 0.3 m (全國 0.4m)

## 推 進 方 針

- 山林經營과 地域開發을 겸한 多目的 道路 開設
- 地域間 利用 道路로 地域單位 完結 推進
- 地方道路 및 既存道路와 連繫設計로 活用度 提高

## 推 進 計 劃

(單位: 百萬원)

事業 別	事業 量	事業 費	財 源 別			
			國 費	道 費	市郡費	自 擔
計	45 km	1,874	(51%) 947	(13%) 246	(26%) 496	(10%) 185
新 設	45	1,777	865	242	488	182
補 修	(12)	31	16	4	8	3
'94事前設計	(39)	66	66	—	—	—

## 期 待 效 果

林業經營 基盤 構築과 地域住民 交通便宜 提供

# 自然休養林造成

## □ 事業概要

- 目 標 : 5個所 ('90-'96)
- 推 進 中 : 3個所
  - 박달재 休養林 : '90-'92 完工開場
  - 壯龍山 ≡ : '91-'93 (3年次)
  - 鳥嶺山 ≡ : '92-'94 (2年次)
- '93 計 劃 : 2個所 - 中原·가금·봉황 休養林 : '93-'95 (新規)  
 ※1個所는 追後指定告示

## □ 推 進 方 針

- 山林의 多目的 經營一環으로 所得과 連繫 推進
- 自然景觀의 保全 및 山林毀損의 最少化 原則으로 造成
  - 장용산 休養林 (沃川, 군서) : 便宜施設, 林產物販賣場 등 16種
  - 조령산 ≡ (槐山, 연풍) : 休養施設, 衛生施設 등 38種
  - 봉황 ≡ (中原, 가금) : 基本施設, 便宜施設 등 20種

## □ 推 進 計 劃

(單位: 百萬圓)

區 分	年 度 別				
	計	既投資 ( '90-'92)	'93	'94	'95
計	4,465	1,895	1,000	1,070	500
國 費	1,290	840	350	—	100
道 費	2,191	569	575	820	200
市 郡 費	984	459	75	250	200

## □ 期 待 效 果

國民保健 休息空間 提供 및 情緒涵養에 寄與

# EXPO 對備 山林整備

EXPO 對備 高速道路, 國道邊 觀光地 등 主要地域에 대한  
山林을 깨끗이 整備 快適한 淸淨景觀을 造成 圖謀

## □ 推 進 方 針

- 主要地域 우선 選定 施行
- 主要 可視地域 早期 景觀 造成
- 作業團 活用 適期施行으로 事業成果 提高

## □ 推 進 計 劃

(單位：百萬원)

事業內容 / 區分	事業量	事業費	財 源 別			
			國 費	道 費	市郡別	自 擔
計	5,655 ha (4,400本)	1,229	(32%) 389	(13%) 167	(34%) 415	(21%) 258
大 苗 造 林	55 ha	264	139	37	88	—
育 林 事 業	1,800 〃	686	214	64	150	258
病 害 蟲 防 除	3,800 〃	171	16	46	109	—
街 路 樹 植 栽	(4,400本)	108	20	20	68	—

## □ 期 待 效 果

本道를 찾는 來訪客에게 快適한 雰圍氣 提供

# 丑 栽培 示範事業 擴大

## □ 事業 概要

- 栽培 農家數 : 789戶
- 戶 當 所 得 : 4,500千圓
- '92支援實績 : 2個 組合 (沃川, 陰城 組合) / 40百萬圓
- '93支援計劃 : 4個 組合 (沃川, 鎭川, 槐山, 陰城 組合) / 80百萬圓

## □ 推 進 方 針

- 零細組合에 대한 支援事業 一環으로 推進
- 組合當 20百萬圓 (100m<sup>2</sup>)씩 2年間 支援
- 3年次 以後는 自體負擔 年次別 繼續事業으로 推進
- 任職員을 技術指導 要員化하여 栽培技術 普及 擴大

## □ 推 進 計 劃

(단위 : 百萬圓)

區 分	年 度 別			
	計	'93	'94	'95
計	545	218	218	109
道 費	100	40	40	20
郡 費	100	40	40	20
自 負 擔	345	138	138	69

## □ 期 待 效 果

組合의 自立 安定基盤 構築 및 農山村民의 所得源 擴大

# 道政質問、答辯時繼續性 業務處理狀況

日 字 : 1992. 11. 30	場 所 : 本 會 議 場
質 問 : 金鎮學 議員	答 辯 : 農 林 水 產 局 長

### 質 問 內 容

- 無許可 畜舍 陽性化에 따른 敷地 地目現況과 對策은?

### 答 辯 內 容

- 政府의 無許可 畜舍 陽性化 對策에 따라 申告된 無許可 畜舍는 3,043戶, 6,331棟에 約307千坪임
- 申告된 畜舍敷地의 地目別 現況은 田畝이 265千坪으로 大部分이며 林野 34千坪 草地 等 其他가 8千坪임
- 無許可 畜舍가 適法하게 追認될 境遇 畜舍比重이 높으면 雜種地로, 住宅比重이 높으면 垡地로, 草地는 牧場用地로 地目變更됨

### 現 在 까 지 處 理 狀 況

- '93. 4月末까지 追認措置 完了計劃으로 市郡, 邑面洞 追認對策班의 現 地調查가 實施되고 있으며, 地目變更은 適法畜舍로 追認된 後에 處理 됩니다.

日 字 : 1992. 11. 30	場 所 : 本 會 議 場
質 問 : 金鎮學 議員	答 辯 : 農林水產局長

**質問内容**

- 内水面 自然資源 活用計劃은?

**答辯内容**

- 内水面을 活用한 住民所得化 方案으로는 内水面 資源造成 擴大, 有料 낚시터 開發, 新魚種 養殖方法 및 優良稚魚 生産 普及 등 多様な 所得增大 方案이 있음.
- '93年度 計劃으로는 1億2千餘萬원을 投資하여 붕어, 뱀장어 稚魚, 1,560 千尾 買入 放養, 氷魚알 40,000千粒 移殖, 人工産卵場 10千m設置 및 淡水魚 品評·展示會 開催를 통한 優良品種 發掘 및 淡水魚 消費促進을 시켜나갈 計劃임

**現在까지 處理現況**

- '93年度 豫算確保 : 總 141,541千원
  - 稚魚買入費 (뱀장어, 붕어등) 90,000 ㄴ
  - 人工産卵場 造成 (10千m) 20,000 ㄴ
  - 氷魚알 移殖 (40,000千粒) 5,260 ㄴ
  - 優良稚魚生産普及(340千尾) 19,181 ㄴ
  - 淡水魚 品評會 (1回) 7,100 ㄴ

**今後 措置計劃**

- 稚魚 買入放養 : 忠州, 大清, 槐山담에 실뱀장어 60千尾, 붕어·잉어 稚魚 1,500千尾 買入 放養 ('93. 7~10月)
- 人工 産卵場 : 3개담에 10,000m造成(93. 4~6月)
- 氷魚알 移殖 : 3個담 및 優良貯水池에 40,000千粒 移殖 ('93. 3~4月)
- 優良種苗 生産普及 : 觀賞魚, 메기등 優良品種 340千尾 生産 分讓 ('93. 7~10月)
- 淡水魚 品評會 : '93. 10月頃 開催